日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

裾野麗峰山の会 (sine１９９４)

第２５期・15巻　　２０１９年　７月号　　NO. 215

仲間と仲間を結ぶ機関誌

すぽう

Susono Reihou Alpine Club

富士残雪

山行NO. １８２２
２０１９. ０６. １４
富士山山頂

イ．第５３期第２回理事会議事録.　2019. 5. 19　13：00～　　静岡市・長田生涯学習センター
伊豆（鍋島）、三島（山口）、駿東（曽根）、裾野（後藤）、沼津（植松・欠席）、ふじ山楽歩（加藤）、あさぎり（斎藤・福原）、清水（小林）、静岡（瀧・吉田）、安倍っ子（竹本）、焼津（古本）、山登歩（花澤・山本）、ＮＭＣ（森）、浜松（後藤）、フレンズ（鈴木・欠席）
53 期理事名簿の確認・・・特に問題なし

ロ、専門部報告

組織部の報告

（１） 専門部担当者会議　１２団体１３名出席

・議題　会員数に維持拡大について
現会員の活動を活発化して魅力ある会づくりを支援する
未組織若年層への働きかけをして次代を担う組織基盤づくりを支援する
＊自家用車使用に関する規定のある会はその規定を組織部長まで送付する

（２） 会員数の維持・拡大の取り組み
昨年１１月～今までの会員数増減について
増やした会　７会　　減らした会　５会　　+２名
各種学校・教室の開催や公開ハイクを実施している会
静岡労山　清水労山　伊豆ＨＣ
ネームプレート・リーフレット・ポスターの活用について
ネームプレートを新たに作成した会…安倍っ子　駿東山の会
リーフレット
山登歩…藤枝交流センターなど１０か所くらいに置いた
清水　…山で配っている
あさぎり…例会で会員に分けたが報告はこれから
ポスター
レイホー…よく行く飲み屋に貼ったがサイズが小さいく目立たない
＊おだまき山の会（新潟県）よりポスターの使用許可を求めてきた

ハ、教育遭難対策部

（１）専門部担当者会議　１１団体１２名出席
詳細　別紙教育遭対部より報告済み

（２）事故報告
あさぎり、道迷いによる遭難事故　3 日目に自力下山　詳細別紙
静岡労山　道迷い　電話で警察に救助要請　詳細別紙
2 件とも　怪我等なし　警察出動（静岡はヘリも）

（３）ＧＷのまとめ　別紙

（４）安全登山講習会について
10 月 27 日　午後　テーマ「地図読み」　講師　静大 村越先生
会場　清水区「ふれあい広場」予定

（５）ベルクシュッタト学習会
9 月 29 日（日）「ハイキングでのレスキュー」　場所未定

ニ、自然保護部の報告

（１）専門部担当者会議報告　12 団体 13 名出席
①全国一斉清掃ハイクの取り組みについて
実施日　5/22・6/2・6/9 で行う

出された意見
・中部ブロックは、行政の要請により３会が日本平で行う
・実施中を「旗」や「ゼッケン」でアピールする
・登山道を中心に行い、山小屋跡などははずす
・清掃ハイクを続ける必要があるのか→登山道にゴミが無いことを確認するのも

大切

②自然保護デーの取り組み

各会で実施した結果を報告する

③自然保護憲章について

会として何が実践出来るのかの意見があった・鹿害の報告があった

④リニア建設反対

自然保護だけでなく、自然環境や安全性からも問題

（署名活動に取り組む）

目標：全国で３万筆・県連で３千筆、本日２２５筆提出（累計２１００筆）署名を通じて、現状の工事でも問題が多発していることやリニアの不合理さを広く知らせる

⑤携帯トイレ

・携帯トイレは持たなくても良いのでは？

・ペーパーは持ち帰る意識を持つ

⑥南アルプス保護活動は、呼びかけに応える

ホ. 各ブロック報告

（東部ブロック：曽根）

ブロック会議：４月２２日　５名参加

内　容：ブロック交流ハイク 9/29 実施

県連・ブロック交流ハイクの候補地を 5/19 に持ち寄る

平和行進のブロック内の日程確認

5/19 ブロック会議を行う

（中部ブロック：花澤）

ブロック会議：４月１２日　７名参加

内　容：今年度の会議日程確認

①10/6：ブロックふれあい交流ハイク（高山）

②10/17：自然保護デー

③2/2：スノーシューハイク

時期ブロック長：NMC

（西部ブロック：後藤）

ブロック会議を実施していない

ヘ、ブロック体制の検討

確認内容

ブロック体制は現状で進め、ブロックごとの状況に合わせて活動を決める

出された意見

① 県一本化にしては？②二つにしては？③今まで通りは無理では？④東・西で温度差が大きい⑤夜の会議は大変⑥ブロックの活動を止めてしまうかも？⑦労山への加盟について、メリットを感じない人が半分いる⑧魅力のある山行が無いと辞めてしまう

ト、平和行進

各会で日程を確認して参加する

チ、山筋ゴーゴー体操サポーター養成

１０名以上集まれば、講師が来て２日間の講習会を行う

参加者集約を加藤理事にお願いする。次回理事会で確認して、その後日程調整する

リ、全国の集会・会議

① 6/29 全国理事長・組織担当者会議（斉藤理事長・小林理事）

② 7/6･7 全国自然保護講座（竹本会長、他行ける人で）費用自分持ち

③9/28･29 全国ハイキング学校（各会で直接申し込む）

ヌ、その他

①山岳４団体山の日記念行事（11/5～10 静岡市民ギャラリー）写真募集

③ コヘリへの加入を勧める（県連で 80 名位加入）全国連盟で入会金負担
あり

ル、「労山の理念」の学習会を計画する

時期：2020 年 3 月 1 日（日）県連総会の日（午前中１時間半程度）

講師依頼：竹本会長にお願いする　以上

１、第３回東ブロ会議　２０１９－６－２４（月）

場所　ちょっ蔵　18:30～　出席者　：　植松・鍋島・後藤・斉藤・加藤・曽根

議事

イ、　県連ハイクについて

日程：１月２６日（日）に決定

第２回東ブロ会議で、幕山に決定したが、伊豆ハイクより改定案が出され変更する
候補として、沼津アルプスの、香貫山・徳倉山のいずれか。決定せず次回に再検討する
次回ブロック会議までに各自調査をお願いします

ロ、　ブロック交流ハイク

日程：１１月２４（日）

場所：羅漢寺（らかんじやま）

参加費：５０人乗大型バス利用で、@￥３，０００－　不足分は東ブロ会計で補助する
経費概算￥１４０，０００－

経路：御岳町郵便局から、長澤橋付近のドライブインまでとする

伊豆ハイクで実績有り。山行計画を、鍋島さんから曽根にメール頂く
東ブロ山行計画を曽根が作成する
バス予約は、鍋島さん担当　みやび観光がいい
参加予測：伊豆ハイク１５名　三島１名　駿東５名　沼津７名　麗峰１名
あさぎり１０名　山楽歩　０名　　合計３９名

ピックアップ場所

三島駅北 6:30→安全タクシ 6:40→東名沼津 PA7:00→富士 IC7:20→富士宮
参加資格：東ブロ会員限定　会員優先で空きが有る場合は一般@￥３，５００－

ハ、山筋ゴーゴー体操サポート要員養成講座参加希望者

あさぎり３名　沼津３名　駿東１名

二、平和行進

5/19 引継２名　5/20　１５名　5/21 沼津豪雨で中止？　5/22 あさぎり５名

ホ、安全登山講習会

ヘ、事故報告

伊豆ハイク　横浜ウオーキングで骨折した
伊豆ハイクは登山しない会員向けに会行事としてウオーキングをしている
基金による救済を強く望む

以上

1.会活動報告

	０６月２８日（金）	塚田君送別会（合谷宅）	
	０６月２４日（月）	東部ブロック会議	
ＮＯ．１８２３	０６月２２日（土）	西丹沢＝屏風岩山・東尾根（雨中止）で富士山・二ッ塚	６名
NO１８２２	０６月１４日（金）	富士山山頂	４名
参考	０６月０９（日）	西丹沢・屏風岩山（雨中止）	
まったりハイク	０６月０２日（日）	富士山＝山シャクヤク	６名
ＮＯ．１８２	０６月０１日（土）	西丹沢＝権現山・北東尾根	２名

２．今後予定（変更もあります・日程確認の為、山の会以外の予定も掲載しました）

７月度	０７月０６日（土）	北海道がなければ丹沢バリエーション
	０７日（日）	県連理事会
	１０日（水）	伊豆巡礼
	１３日（土）	北海道がなけらば、丹沢
	１４日（日）	伊豆巡礼
	１５日（月）	海の日
	２０日（土）	夏山訓練
	２１日（日）	
	２４日（水）	伊豆ウオーク
	２７日（土）	
	２８日（日）～３１日（水）	２５周年記念登山） 北アルプス＝赤牛岳方面

４．２５周年記念登山

第１日目＝７月２８日（日）長泉～大町（泊）

第２日目＝２９日（月）大町～黒四～３：３５～平の渡し～３：００～奥黒部ヒュッテ（泊）・・・・・６時間３５分

第３日目＝３０日（火）奥黒部ヒュッテ～７：００～赤牛岳～３：３０～水晶小屋（泊）１０時間３０分

第４日目＝３１日（水）水晶小屋～２：３０～真砂岳～２：４０～湯俣岳～１：４５～晴嵐荘～３：３０～高瀬ダム～タクシー大町（泊）・・・１０時間３０分

第５日目＝０１日（木）帰静

５．リニヤ署名・・・・持参して下さい

６．その他・・・塚田君は、７月１６日から黒百合ヒュッテ着任

７．会計・・・・その後、１名以外すべて入金した。　以上

裾野麗峰山の会・山行報告書

文・写真　ＧＴ

山行 NO　山行ＮＯ．１８２１

日　時　２０１９．０６．０１（日）無風快晴

山　域　西丹沢・上権現山（１１３８ｍ）北東尾根

コース　西丹沢・マウントブリッジキャンプ場橋駐車場７：３０－大堰堤上の尾根取りつき７：４６—権現山９：００～２６－途中で会った登山者９：５１－西沢１０：１８－駐車場１０：３５

標高差　上り　駐車場約５５０ｍ～上権現山１１３８ｍ＝約５８８ｍ
　　下り　〃

藪　度　殆どなし　参加者　ＧＴ，ＫＨ

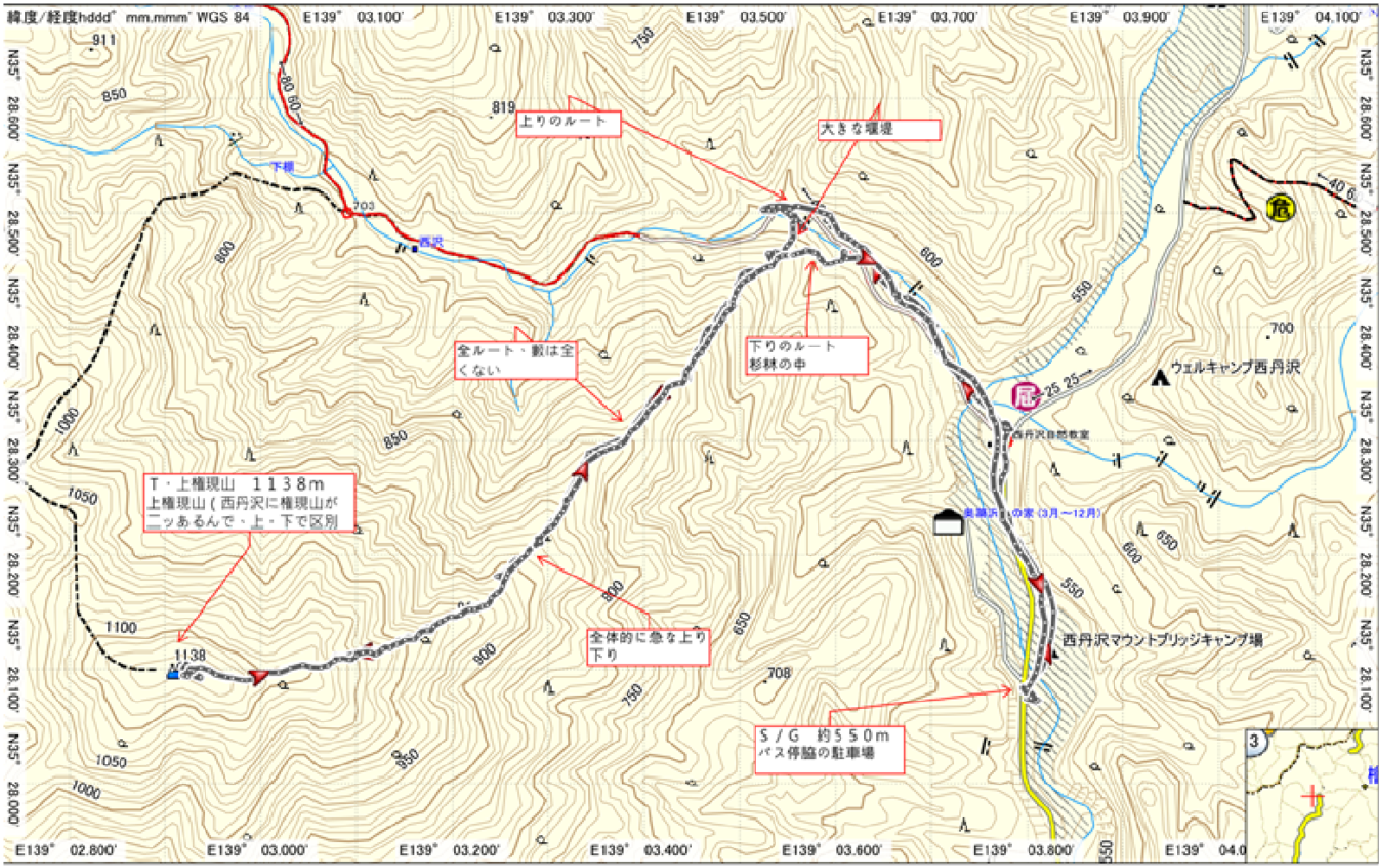
快適な上りが続くバリエーション

西丹沢には、権現山が二つある。一つは、丹沢湖西の権現山（１０１８ｍ）、ひとつは、西沢南の権現山（１１３８ｍ）。同山域に同名の山が二つは、ややっこしい。便宜上、前記を下権現山・後者を上権現山とした。

今回は、上権現山の北東尾根バリエーションを狙った。西丹沢自然教室に着くと駐車場は満杯。何か行事と聞けば、「何もない」だった。昨今の「登山ブーム」である。少し下って橋の袂に駐車した。

大堰堤上の取りつき

初見の山だから取り付きは不明。地図を見て大体の所から入った。最初は超急だが、少し上は落ち着いた。キレイなイイ尾根が続いていた。大勢の登山者は、概ね檜洞丸方面と思うが、ここは誰もいない。尾根は木立の日陰で、涼しい風が吹く。簡単に頂上着。３０分休憩。
下山の最短コースの同コースを下る。急だが快適に下る。中ほどで下から一人上って来た。聞けばバリエーションが好きで、一般コースはあまり行かないといった。「情報を交換しましょう」で名刺を渡した。奇特な方がいるものだ。
程なく西沢着。短いコースだが、素晴らしい尾根だった。畦ヶ丸と繋げれば、更に充実したコースになるだろう。



Japan Topo 10M Plus V3
CensusMaps Co., ULM 2014
Garmin Corporation ©1990-2014

2019/06/01 17:22:27

GARMIN

白い蛾

尾根

頂上

単独の方

裾野麗峰山の会・山行報告書　　文・合谷、後藤　写真・後藤

山行 NO　山行ＮＯ．１８２２
日　時　２０１９．０６．１４（金）晴・上部やや風
山　域　富士山（３７７４ｍ）
コース　富士宮五合目発５：３０－六合目６：４３（１５分ロス）－七合目７：１９－八合目５６－九合目８：４３－九合五勺９：３４―ブル道―頂上１０：４２－九合五勺１１：１９～４０－最終雪渓１２：４７－五合目１３：２５
標高差　上り　五合駐車場約２３８０ｍ～頂上３７７４ｍ＝約１３９４ｍｍ
　　下り〃
参加者 後藤、加藤、勝又、合谷＝４名

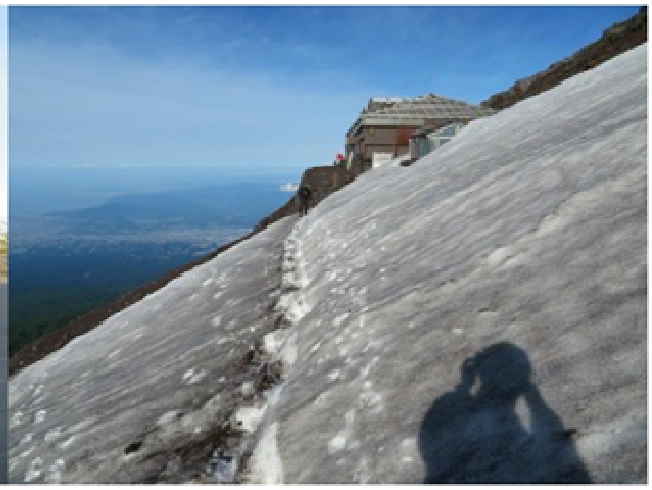
【後藤記】
今年の富士山は残雪が多かった。しかも２～３日前、またまた寒の戻りで八合目以上は降雪。仰ぐお山は真っ白だった。５月末スキーに続き二回目の富士山。前回、日帰りで余りに厳しかったので、今回は前泊とした。１６時、富士宮五合目は閑散としていた。思ったほど寒くない。
来る時、下で見た外人さんがいた。聞けば千葉から来た親子だった。軍人らしいが、横田・横須賀ではないらしい。今日、帰るというが、「何処かにスシはないか」という。御殿場にサイコーに旨い「魚がし」があると教えて上げた。陽気な親子。車はレンタカーだった。
下山してきたオジサンがいた。清水市の７６歳の方で昨夜来たという。高齢で迷惑を掛けるから山

岳会には入っていないという。清水労山は知っていた。上りは８時間掛ったそうだ。上部は新雪だがピッケルの必要はないとの情報を得た。年齢だが、その情熱に感服。
天気が良く温かいのでトイレ入口脇のテラスで外（そと）食。ビアとワインが旨かった。下界は一面の雲海だった。こんな時は好天が続く。テントは下がコンクリで硬く、いささか寝難くかった。フライがパタパタ煩かった。ＫＹは２１時ころ来たらしいが車中泊した。

外人親子

【合谷記】
今回の富士登山は 30 数年前に学生時代の友達と登山して以来の 2 度目の登山である。
最初の登山で富士山は登るより遠くから眺めた方がいい山だという思い込みがあり、その後は裾野に住んで毎日富士山を眺めてはいるが、全く登っていない。今回は GT さんから 12 本爪のアイゼンの提供を受けての 2 度目の登山となった。

14 日は早朝スタートで富士宮口の 5 合目に前泊（テント泊）するため、13 日 15 時半に裾野で GT 車に拾ってもらう。（KY さんは仕事があるため、夜に単独で 5 合目に移動）
夕食は KH さんが準備してくれていて、誠にありがたい。また、5 合目に行く途中に御殿場の Y 精肉店で「馬刺しと牛焼き肉」を調達、何と豪華な夕食であろうか。
17 時に 5 合目に到着、すぐにテントを設営。天気もよく、寒くもないので、テントの外で夕食を取った。それにしても、見事な雲海と目前に迫る雪を頂いた富士山頂を眺めながらの豪華な夕食は素晴らしい、山に登らなくてもこれだけで十分であった。



五合目　　六合目

合谷・初１２本アイゼン　　七合目

4 時半に起きて、朝食時に KY さんと合流（KY さんは前日 21 時過ぎに到着し、車中泊）。5 時半に 5 合目を出発、いよいよ、30 数年振りの富士登山の始まりである。6 合目までは雪もなく、火山瓦礫の歩き難い登山道が続く。最初の登山の時もそうだったが、私は火山瓦礫の上を歩くのが苦手なのか、どうしても富士登山を好きになれそうもない。
6 合小屋（新 7 合目 御来光山荘）の手前に大きな雪渓が残っており、雪渓歩きに慣れていない私はいよいよ初めての 12 本爪のアイゼンを使うことになった。
一度、家でアイゼンの取り付け方を練習はしていたが、いざ現場でアイゼンを取り付けようとするとスムーズに行かず、GT さんからお叱りを受けてしまった。無事に雪渓を渡り、そこから、また 8 合目まで、火山瓦礫の厳しい登りが続いた。
8 合目を過ぎてから残雪が多くなってきたので、再度、12 本爪のアイゼンを取り付けて頂上を目指した。雪の上は瓦礫の登山道より、ずいぶん歩き易い。

八合目　　九合目

快調なペースで 9 合目、9 合 5 勺を超えて、剣ヶ峰に到着したが、頂上は風が強く、休む暇もなく下山。9 合 5 勺から 7 合目まで GT さん、KH さんのサポートを受けながら、生まれて初めての雪渓下り。一般の登山道を下るより、遥に気分爽快である。
7 合目から歩き難い火山瓦礫の登山道を転ばないようにゆっくり下って何とか 5 合目に到着。途中、足が疲れていたせいか、2 度も尻もちをついてしまった。
2 度目の富士登山でしたが、やはり、火山瓦礫の登山道で足がかなりダメージを受けました。また、開山前にブルドーザーや年配のおじさんが登山道を整備していて、面白く思った。

九合五勺上ブル道

頂上直下

６月にしては多い雪

【後藤記】
ブル道を辿り頂上着。約５時間は、まあまあの時間。２０１２年・６５歳からデータをとっているが、時間は案外変わらない。変わるのは「辛さの度合」である。頂上には誰も居なかった。風が強いので写真を撮り下山。ブル道を下ると、七合辺りから聞こえていたブルが２台上って来た。先頭は除雪用、後ろはユンボを積んでいた。
丁度、カーブの所で停車し、我々を待っていてくれた。年配のオジサンだった。てっきり小屋関係

頂上直下

富士山頂

工事関係ブル

の方と思ったが聞けば、「頂上のトイレを掘りに来た」そうだ。開山が近いからである。
後で聞いた話だが、今日はとりあえず下るという。また、上るのも大変なこと。ちなみに夏は九合小屋に宿泊するという。下るタイミングが遅れたＫＹ、ＧＭは、だいぶ待たされた。ブル道は、雪が圧縮され歩き易くなった。九合五勺で大休止。頂上は早くも怪しげな雲が湧いてきた。

昼食

下山

九合五勺から雪渓を下る。富士山登山は、ほとんど残雪期。理由はある。「残雪期は下りが楽」だからである。過去、歩きで最速１時間４８分。夏では不可能な時間だ。雪渓は六合下まであった。先日のスキー時とさほど変わらなかった。

六合下に登山道整備のオジサンがいた。富士宮の方だった。ご苦労様です。早い時間に五合目着。時間があったので「お胎内温泉」で汗を流した。今回もイイ山でした。

（了）

裾野麗峰山の会・山行報告書

文・ＩＫ　　写真・ＧＴ

山行NO　　山行ＮＯ．１８２３
日　時　　２０１９．０６．２２（土）霧雨～雨～曇
山　域　　富士山二ッ塚・上塚（１９２９ｍ）
コース　　長泉６：００－山北（雨のためＵターン）－富士山・洞門７：４０－二合目―下塚・上塚コル８：５３－上塚９：１９－西のコル－大石茶屋―洞門１０：４５－美人の湯―合谷宅
標高差　　上り　洞門約１２８０ｍ～上塚１９２９ｍ＝約６４９ｍ
　　下り　　〃
参加者　　ＧＴ、ＫＨ、ＫＹ、ＨＴ、ＧＭ，ＩＫ＝６名

今回は、3 年半、「れいほう」を離れていた私の復帰、歓迎山行ということで企画していただいた。
6:10　竹沢種苗店で後藤さんの車にピックアップしてもらう。
あとは、合谷さんを裾野でピックアップ予定。が、その前に事件が起こった。このことはきちんと記録しておかなければいけない。

洞門駐車場

サクサク・ザクザク・ワクワク

それは、国道 246 号線を北上中に起こった。桃沢トンネル付近の反対車線側の歩道に人が立っていた。細いシルエットのため、私はベージュのランニングウエアを着た女性ランナーが休んでいるのだと思った。が、車が近づくにつれ、あれ？とおもい、服を着ていないことに気が付いた。
車が通りすぎ、振り返ると、線のように細いハイレグのワンピースの黒い水着を着ているように見える。もしくは黒の塗料で胸や腹に水着っぽく書いていたか。
体形は男だった。うげー。悪いものを見てしまった。運転中の後藤さん以外は見ており、いろんな情報が集まった。トラックから落ちたマネキンかと思ったら動いたとか、髪は染めていておかっぱであったとか、筋肉質であったとか。
あまりにショッキングな映像であったため、この後、ほぼ一日この現象について語り合い、いろんな想像をして楽しむことができた。（例えば、朝まで飲んでいたおかまが、ゲームに負けて罰ゲー

ムで立たされているとか、ユーチューバーであるとか）
ま、そんなドタバタのなか、何にも知らない合谷さんをピックアップし、当初の目的の丹沢を目指す。次第に雲行きが怪しくなり、山は雲で隠れ、雨が降ってきた。
山登りに来て最初から雨なら中止だと、山北でＵターンした。愛鷹も沼津アルプスも箱根も雲の中で、富士山なら雲海の上かも、いってみようということになった。結局、御殿場口洞門に駐車し、二ツ塚を目指すことにした。

自衛隊員

7:40 スタート（1280m）。森を抜け、砂礫を歩く。ずずっと足が沈み思ったように進まない。30 分ほど沢を歩いていると雨が降ってきたので、カッパとザックカバーをつける。2 番手を歩いていたが、遅れ始め、結局一番後ろを歩いた。息は激しく、足が遅い。100 数えては止まり、辺りを見回して休憩する。
富士山の中にいる実感がわいてくる。オンタデが花をつけ、視界中に広がっている。他にも、足元に雨でぬれた小さな白い花があり、光っているように見える。
どんどん遅れる。途中、鍛えられたふくらはぎを持つランナー7 人に抜かれる。
9:30 上塚（1930m）につくが、もう誰もいない。どこから降りるかわからず、上塚の頂上をぐるぐるまわり、やがて下のほうで勝又さんが手を振っているのが見え、降りる場所が分かった。早くも遭難するかと思った。

イタドリのサークル

10:00～10:30 山開きに向けて準備を始めていた五合目の小屋の軒下を借りて休憩。ここでビール。うまし。これですこれ。
10:45　ゴール。そのあとは、ヘルシーパークで（くさい）汗を流し、板妻の山崎精肉店で、コロッケや馬刺しを購入、コンビニで麦の炭酸水やワインを買い、今や「れいほう」の保養地と化した千福の合谷邸へお邪魔する。

オンタデ

フジハタザオ

持ち寄った食べものとお酒で、高尚な話から低俗な話まで、ありとあるゆる「重要な話」をしているうちに時間は過ぎていった。最後は、合谷シェフの特性ヨーグルト with リンゴジャムと引き立てコーヒーをいただいた。17:30 解散。

3 年半のブランクは大変大きく、筋力も気力、根性も一般人になってしまったと痛感した。冬までに追いつけるだろうか不安である。無理せずぼちぼちいきます。

以上

ヤマボウシ

【後藤記】

１．　カッコウの鳴き声を聞いた。（私的には今期最初）

２．　抜き去ったランナーは、富士山マラソン訓練の自衛隊員。「富士宮口まで行く」といっていたが、標高２３８０ｍの五合目だろうか。なら、厳しい。仕事か趣味か不明。

３．　上塚から男女二名降りて来た。

４．　御殿場口大石茶屋・勝又さんにベンチをお借りした。お世話になった。

５．　雨が止んだ後、気温が上がり、水蒸気が幻想的に流れた。

６．　雨上がりは、火山礫の「ホコリ」がなく快適。

７．　シカの足跡が無数。掘ったと思われる「蟻地獄」のような穴もあり。

８．　観察した花＝フジハタザオ・ミヤマオトコヨモギ・タカネツメクサ・オンタデ・イタドリ・落ちたナツツバキ・ヤマボウシ

９．　相変わらず、洞門駐車場の「立ち入り禁止」に立て看板。これは何？？
勿論、以前はなかったが、「何処の、誰か、理由」を表記すべきだ。

１０．　合谷さんにお世話になりました。

行ってきました・・・６月１０～１１日

尾瀬　　浅野、ほか２名

リュウキンカ

至仏に燧、水芭蕉といつもと変わらない尾瀬をのんびりと散策。
山の鼻から牛首に向かう途中の木道を横切る子熊に遭遇！
親熊が出て来なくて良かったです。
今回の楽しみの一つに、日本酒の「水芭蕉」を使用した、大人のスイーツを食べたかったのですが、
至仏山荘では売り切れ、鳩待では仕込中で食べられず残念！（写真・下）
水芭蕉、リュウキンカが見頃でした。

＊登山の記録、募集しています！！　お寄せください

日本勤労者山岳連盟
静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック
裾野麗峰山の会（愛称・れいほう山の会）

会報「れいほう」
第２５期・１５巻　　NO.２１２　　２０１９・７月号

連絡先　静岡県駿東郡長泉町下土狩１５４１－１２　徳山荘
０９０－８９５６～９９９０　　０５５－９８６～６０７５
HP　http://susono-reihou.babyblue.jp/

機関誌「れいほう」5/6 月号　　了